

報道関係者各位

平成 24 年 6 月 27 日

前回好評につき、福島県内 4 都市で巡回開催
笑顔がいっぱいふえるといいな。

平成 24 年度 東日本大震災 復興支援事業 日赤キッズクロスプロジェクト
『すまいるぱーく in FUKUSHIMA』 開催のご案内

日本赤十字社福島県支部では、この度、「日赤キッズクロスプロジェクト」の一環として、平成 24 年 7 月 3 日(火)から 7 月 13 日(金)まで、福島市南体育館にて『すまいるぱーく in FUKUSHIMA』を開催致します。前回、今年 2 月にご参加頂いた多くの親子連れからご好評を受け、12 月までの間に、福島市、相馬市、いわき市、白河市の 4 都市で計 6 回、巡回して開催する予定で、7 月の福島市南体育館での開催が皮切りとなります。



c) Patrick Wack/Japanese Red Cross

『すまいるぱーく in FUKUSHIMA』は、東日本大震災による原発事故の影響で屋外での活動が制限され、運動不足や精神的ストレスを感じている幼児がおもいきり運動や遊びを楽しめる場所を提供し、ストレスの解消と運動能力の向上の一助とするとともに、青少年赤十字の「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の精神、態度を育てることを目的としています。

プレイランド(常設)は、子どもたちがおもいきり遊ぶことが出来るよう、巨大エア遊具、ボールプールやサイバーホイールなど、安全に配慮した遊具を設置しています。ステージプログラムでは体操教室や読み聞かせ、バルーンアートプログラムを実施。7月3日のオープニングには、前回 2 月に参加出来なかったさかなクンが登場し、「大人気さかなクンの愉快的トークショー」を実施致します。

■本リリースおよび取材に関する問い合わせ先
すまいるぱーく広報事務局 担当:福井、秋元
フリーダイヤル:0120-770-828(平日 9:30~18:30) 当日の連絡先:090-7815-0140(7/3のみ)
■日本赤十字社に関する問い合わせ先
日本赤十字社福島県支部 担当:松本・富田 TEL:024-545-7997

<事業概要>

- 【名称】 平成 24 年度 日本赤十字社 東日本大震災 復興支援事業
日赤キッズクロスプロジェクト 『すまいるぱーく in FUKUSHIMA』
- 【事業内容】 東日本大震災による原発事故の影響で屋外に出られず、運動不足や精神的ストレスを感じている幼児がおもいきり運動や遊びを楽しめる場所を提供します。
- 【スケジュール】
- ①福島市 日程 :平成 24 年 7 月 3 日(火)~7 月 13 日(金)
会場 :福島市南体育館 (福島市松川町浅川字笠松 11-2)
共催 :福島市、福島市教育委員会
 - ②相馬市 日程 :平成 24 年 7 月 22 日(日)~8 月 3 日(金)
会場 :相馬市総合福祉センター はまなす館
(相馬市小泉字高池 357)
共催 :相馬市、相馬市教育委員会
 - ③いわき市 日程 :9 月下旬~10 月上旬予定
会場 :調整中
共催 :いわき市、いわき市教育委員会
 - ④白河市 日程 :平成 24 年 10 月 16 日(火)~10 月 25 日(木)
会場 :国体記念体育館 (白河市北中川原 30)
共催 :白河市、白河市教育委員会
 - ⑤相馬市 日程 :平成 24 年 11 月 14 日(水)~11 月 26 日(月)
会場 :スポーツアリーナそうま (相馬市中村字北町 55-1)
共催 :相馬市、相馬市教育委員会
 - ⑥福島市 日程 :平成 24 年 12 月 18 日(火)~12 月 27 日(木)
会場 :パルセいいざか (福島市飯坂町字筑前 27-1)
共催 :福島市、福島市教育委員会
- 【主催】 日本赤十字社福島県支部
- 【後援】 福島県国公立幼稚園長会、福島民報社、福島民友新聞社、福島テレビ、福島中央テレビ、
テレビユー福島、福島放送、NHK 福島放送局、ラジオ福島、ふくしま FM 他
- 【対象】 福島県在住の未就学児
- 【入場料】 入場無料
- 【問い合わせ先】 すまいるぱーく事務局
フリーダイヤル:0120-770-828 FAX:050-3737-5883(平日 9:30~18:30)
URL:www.smile-park.net

<「すまいるぱーく in FUKUSHIMA」福島会場 開催概要>

- 【開催日時】 平成 24 年 7 月 3 日(火)～7 月 13 日(金) 10:00～17:00
※7 月 13 日(金)は 10:00～12:00
- 【利用時間】 ◆初日 7/3(火)
団体利用： 10:00～12:00 (バス送迎あり)、14:00～17:00
一般利用： 14:30～17:00
◆平日
団体利用： 10:00～12:00 、13:30～15:30(バス送迎あり/希望時間まで)
一般利用： 13:00～17:00 (入れ換えの可能性あり)
※平日は 12:00～13:00 メンテナンス、入れ替え
◆土日
一般利用： 10:00～17:00 (入れ換えの可能性あり)
- 【主催】 日本赤十字社福島県支部
【共催】 福島市、福島市教育委員会
【後援】 福島県国公立幼稚園長会、社団法人福島市私立幼稚園協会、福島民報社、
福島民友新聞社、福島テレビ、福島中央テレビ、テレビユー福島、福島放送、
NHK 福島放送局、ラジオ福島、ふくしま FM、福島コミュニティ放送 FM ポコ
- 【開催場所】 福島市南体育館
(福島県福島市松川町浅川笠松 11-2) TEL.024-567-5617



- 【対象】 福島市、二本松市、川俣町、飯舘村在住の未就学児

<「すまいるぱーく in FUKUSHIMA」福島会場 プログラム紹介>

プレイランド(常設)

安全に配慮した遊具を設置し、子どもがおもいきり遊べる、プレイランドを設置。

(ボールプール/エアトラック/サイバーホイール/ブロックモジュール/ベビーコーナー/巨大エア遊具)



c) Patrick Wack/Japanese Red Cross

さかなクンのイラスト展&ぬりえワークショップ(常設)

さかなクンのイラスト展示コーナーやさかなクンのオリジナルイラストのぬりえを楽しめるぬりえコーナーもあります

ステージプログラム

■大人気さかなクンの愉快的トークショー

大人気おさかな博士「さかなクン」が得意なイラストを使ったクイズを交え、お魚にまつわる「へえ～」な話をお届けします

7/3(火) 15:00～15:30

■バルーンアート

バルーンパフォーマーしゅうちゃんがその場で「バルーンアート」をつくります

7/7(土)、7/8(日)①10:30～10:50、②13:00～13:20

■「らくがきっこ体操クラブ」体操教室

ひろみちお兄さんの体操教室「らくがきっこ体操クラブ」専任インストラクターによる体操教室

<平日> 団体招待:11:00～11:20

一般利用:①14:00～14:20 ②15:30～15:50 ※①は初日、最終日、②は最終日除く

<土日> ①11:30～11:50 ②14:00～14:20 ③15:30～15:50

■「Labo Party」の先生による読み聞かせ会

絵本やCDを使って歌ったり、踊ったり、読み聞かせなどのプログラムを実施

14:30～ ※7/3(火)、7/13(金)除く

■着ぐるみ 7/7(土)、7/8(日)



特別企画 セタアート

願い事を書いた短冊と折り紙で「セタアート」を完成させるプログラム。

※団体は、出来上がった「セタアート」をバックに記念撮影。会期終了後、各保育団体にお届け。

※一般利用による「セタアート」は最終日に福島市に寄贈。

ご来場のお子様オリジナルグッズをプレゼント!

※商品が変わる可能性がございますのであらかじめご了承ください。



※会場によって、実施プログラムは異なります。

<会場図>

オープニングセレモニー



<日赤キッズクロスプロジェクトとは>

日赤キッズクロスプロジェクトは、東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手県、宮城県、福島県に対して実施する教育支援プロジェクトです。

東日本大震災では、学校をはじめとする教育機関も大きな被害を受け、授業の再開にも時間を要する結果となりました。特に、校舎が地域住民の避難所となった学校では、子どもたちの学習や活動が制限されました。また、被災した児童・生徒を受け入れている学校でも、学校生活に必要な備品が不足するなど、さまざまな課題を抱えていました。こうした状況を受けて、日本赤十字社では、教育の拠点である学校を中心に、子どもたちが一日も早く、もとの生活を取り戻すことが出来るよう、健康と教育の両面からの支援を行っています。主な活動内容は、下記のとおりです。



① 保健室への備品の整備

被災した学校の保健室に、身長計、体重計、視力計、ベッドなどの備品を届けています。届いた学校では、早速に生徒たちの身体測定が行われるなど、子どもたちの健康と安全を守るために活用されています。

② 仮設体育館の整備

沿岸部の学校では、津波で流出するなどして校舎が使えなくなり、仮設校舎に移転した学校があります。日本赤十字社では、公的な資金で賄われなかった仮設体育館の整備を支援しています。完成した仮設体育館は、体育の授業や学校行事に活用されています。

③ スクールバスの運行支援

学校から遠く離れた仮設住宅で生活している子どもたちは、安全面での懸念がある遠距離通学や、転校を余儀なくされる事態が生じていました。そこで、子どもたちの通学の足を確保するために、スクールバスの運行を支援しています。

④ 学校給食センターの資機材設備

学校の給食室や、市町村の給食センターに食器、保管庫、冷蔵庫などの備品を整備しています。その結果、子どもたちに、温かく多様なメニューが届けられるようになりました。

⑤ パソコンの整備

校舎の外での活動が制限されている地域の学校に対し、パソコンの支援を行っています。室内で活動せざるを得ない生徒たちは、パソコンを使うことで、授業の幅が広がりました。

⑥ 健康・安全に関する講習

子どもたちの健康を守るためには、子ども自身や保護者が、正しい知識や技術を身につけることが大切です。そこで、赤十字が持つ救急法講習などのノウハウを活用した、特別講習会を被災地で開催しています。

この教育支援プログラムは、日本赤十字社が行う本災害の救援・復興支援活動のために世界各国の赤十字社を通じて寄せられた約 562 億円にのぼる「海外救援金」を財源としています。

※国内外の多くの皆さまからお寄せいただいた「義援金」は本事業には一切、使用いたしません。義援金は全額が被災都道県に設置された「義援金配分委員会」を通じて、被災された方々に届けられています。

★さらに詳しくはこちらをご覧ください。→ <http://www.jrc.or.jp/shinsai2011/child/>